

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

| | | | |
|-------------|---|-------------------------|-------|
| ■事業の担当課 | 教育委員会生涯学習文化課 | ■担当係 | 芸術文化係 |
| ■評価事業名称 | 北上市民劇場開催事業補助金 | | |
| ■評価事業コード | 400300 - 084 | ■会計区分 | 一般会計 |
| ■総合計画での位置づけ | ■政策 | 02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり | |
| | ■基本施策 | 04 芸術文化の振興・国際交流の推進 | |
| | ■施策 | 01 芸術文化活動の推進 | |
| ■事業の種類 | 06 負担金・補助金(ソフト事業) | ■政策・業務区分 | 政策 |
| ■法令の根拠区分 | 法令に特に定めのないもの | | |
| ■法令等の名称 | | | |
| ■関連計画の名称 | | | |
| ■事業の概要 | 地域文化創造の発表機会を提供することにより、北上市の芸術文化の振興に寄与する。市民の手づくりによる市民劇場の開催(実施主体 北上市文化創造「月の満ちるはホーイホーイ〜ぐず兄ずる兄たんぱら三郎をモチーフにして」) 補助金1,700,000円 | | |

2. 細事業の活動実績情報

| 細事業コード | 細事業名称 | 事業の対象 | 平成24年度事業計画 | 平成24年度事業量実績 |
|--------|---------------|-------|------------|---|
| 01 | 北上市民劇場開催事業補助金 | 一般 | | 1回公演H24.2.23、24 入場者 489人(2日間計) (入場券販売数 539枚) 出演・参加者数 71人 |

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

| | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 直接事業費 | 1,285 | 1,701 | 1,701 | 1,700 | |
| 人件費 | | 82 | 81 | | |
| その他(公債費・減価償却費等) | | | | | |
| フルコスト | 1,285 | 1,783 | 1,782 | 1,700 | |

4. 評価指標等の状況

| 指標コード | 指標名 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 指標の説明 |
|-------|----------|------|------|------|------|-----------------|
| 01 | 開催日数 | 2日 | 2日 | 2日 | 2日 | 北上市民劇場公演 会場中ホール |
| 02 | 練習延べ参加者数 | | | | | |
| 03 | 参加者数 | 866人 | 765人 | 662 | 555 | 出演者数+入場者数 |

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

| | | | | | |
|----|----------|--|--------|--------|--|
| 04 | 入場者単価コスト | | 3.01千円 | 3.48千円 | |
|----|----------|--|--------|--------|--|

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

北上市文化創造と北上市民劇場を盛り上げる会やっぺしの2者主催により、多くの市民の参加により市民劇場の開催ができた。

問題点・課題等

入場者が年々減少しており、市民の興味を高める必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

過去の市民劇場のアンケートによる題材選択を行うなど新しい企画が始まった。